

令和2年度「えひめ教育の日」推進大会 県教育長祝辞

日時: 令和2年10月24日

場所: 砥部町中央公民館

令和2年度「えひめ教育の日」推進大会並びに推進フェスティバルの御盛会、誠にありがとうございます。

推進会議の皆様方には、日頃より、「えひめ教育の日」の普及・定着はもとより、本県教育の振興・発展に格別の御尽力を賜り、厚くお礼を申し上げますとともに、本大会を共催いただいております一般社団法人「えひめ若年人材育成推進機構」の皆様方、そして開催地の砥部町教育委員会並びに学校関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

さて、今年の予期せぬコロナ禍は、教育の世界にも多大な影響を及ぼしました。3月上旬の突然の一斉臨時休業から、5月下旬の完全再開までの3か月近くもの間、児童生徒や保護者の皆さんの不安や焦燥は言葉に尽くせぬものであったと思います。

こうした中、県教育委員会では、「学校の安全」と「学びの保障」を可能な限り両立させるとの目標のもと、感染予防対策の徹底を図りながら、授業や学校行事、部活動などの諸活動を段階的に再開し、今では、学校は、ほぼ日常を取り戻すことができいております。

この間を振り返りまして、私たちが最もありがたく、そして心強く感じましたのは、家庭や地域の皆さんの学校現場への御協力や励ましの声でした。家庭においては、家族ぐるみの健康観察や感染予防行動の定着、夏季休業の短縮など、これまで経験したことのない生活スタイルに御理解をいただき、また、地域においては、子供への声掛けや、三密を回避してのイベント開催などにより、コロナで気持ちが沈みがちな子供たちを元気づけてくださいました。皆様方の様々な御支援・御協力に改めて深く感謝申し上げます。

今、我が国は、人工知能やIoT等の技術革新によるSociety5.0時代の到来を迎えるなど、社会経済の急激な変革に直面しておりますが、予測が難しい未来社会を前にして、私たち教育に携わる者は、自立的に生きることができる逞しい子供を育成することが、これまでに以上に強く求められて参ります。

そして、その鍵となるのは、自らの人生を切り拓いていくために必要な資質・能力を、社会と連携・協働しながら育む「社会に開かれた教育」の実現にあると考えております。

このため、各学校においては、地域の皆様の御協力をいただきながら、地域固有の課題を学び解決するための活動や職場体験学習等を充実させるなど、子どもたちが自らの将来を主体的に思い描き、「生きた知識」や「学びに向かう力」を着実に身に付けられるよう多彩な取組みを展開しております。今後とも、皆様との緊密な連携のもと、社会の様々な課題に立ち向かいながら、未来を担う子供たちの健やかな成長を支えるため、社会総がかりで取り組んで参りたいと思っておりますので、引き続いての御支援をよろしくお願い申し上げます。

終わりに、本日の推進大会・推進フェスティバルが実り多いものとなり、家庭や地域、企業など県民総ぐるみの教育を推進していくため、改めて県民一人ひとりが教育について考え、行動する契機となるよう強く期待いたしますとともに、推進会議の益々の御発展と、御出席の皆様方の御健勝・御多幸を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

令和2年10月24日

愛媛県教育委員会教育長 田所 竜二